

ちわあさひえ部報

笠間市社会福祉協議会大旭支部
発行 大旭支部長 平林英男
編集 大旭支部広報委員会
発行日 令和7年8月18日
印刷 有限会社大塩企画



笠間警察署員からの実技指導

1時間目は1・2年生がビデオを視聴した後、横断歩道の渡り方を勉強しました。

2時間目は3・4年生がビデオを視聴した後、立つこと、ダメと叱るよ

り「こうしようね」と声がけをすることなども説明されました。

次に、車を止めるための旗の振り方や自転車との関係などについての質問もあり、具体的・実践的に確かめ合いました。

「見守りのおかげで第二小学校区では、令和6年度事故が『0』でした」「見守りは、児童だけでな

市役所職員、交通安全母ティア協力者も参加して交通安全ボランティア研修会が開かれました。

1時間目は1・2年生

が正しい自転車の乗り方・点検の仕方などについて学びました。

その後、交通安全ボランティア協力者の研修となりました。最初に交通課職員が誘導の基本の形や旗の振り方など、床に置かれた横断歩道を前に実演されました。右側に立つこと、ダメと叱るよ



1・2年生の交通安全教室

く、ドライバーの方への注意にもなる」など、有意義な研修会となりました。

長年にわたり、地域の子どもたちの安全確保に多大なご尽力をいただきました。ありがとうございました。

ティア協力者は39人です。7月1日現在、4人の方が辞められています。



友二小の強みを感じて

友部第一小学校 校長

久保木 香澄



友二小HP

4月に赴任してから2か月。友二小の特色として感じていることが2つあります。

一つ目は、563人が集まる集会であっても、前に立つ人が話そうとするしつかり顔を見て話が聞ける児童たちだ、ということ。

二つ目は、地域の方々からの支援の力が絶大だ、ということ。安全面、環境面で子どもたちの教育に大きく関わっていくださっていることに心から感謝申し上げます。

この特色を強みに、子どもたちの個性豊かな成長を支えていきたいと思います。どうぞよろしくお願いい

もくじ	交通安全ボランティア研修会 友部二小久保木校長先生の挨拶	1
	令和7年度代議員委員会の開催 役員名簿	2
	令和6年度決算報告	3
	高齢者クラブ紹介（矢野下寿会） 子ども会との懇談会	ふれあいサロンなごみ
	※情報『いば6』で放送されました（R7.4.8） 蝶図鑑	あとがき
		4

令和7年度 支部代議員会の開催



令和7年5月11日笠間市地域福祉センターともべにおいて、令和7年度代議員会を開催しました。平林英男支部長の主催者あいさつに続き、久保木香澄友部第二小学校校長及び笠間市社会福祉協議会富施信行事務局長から来賓のあいさつをいただき、議事に入りました。

最初に令和6年度事業報告・収支決算報告を行いました。次に令和7年度事業計画・収支予算を提案し、原案どおり議決されました。

なお、審議経過の概要是次のとおりです。

令和6年度事業報告及び 収支決算報告について

1 事業報告について

7月に子ども会との懇談会、9月には高齢者クラブとの懇談会を行いました。

10月の「輪投げ大会」は、三世代交流事業として、支部全体での取り組みとし、eスポーツとボッチャの体験コーナーを設け友部第二小の体育館で行い、皆さんに楽しんでいただきました。また、グラウンドゴルフ大会は、青空のもと、元気溌剌なプレーで、日頃の成果を発揮していただきました。また、役員のバス研修会は、千葉県佐倉市の「国立歴史民俗博物館」へ行き歴史の研鑽をしました。配食サービスとふれあいサロンも通常通りに戻り、配食を通しての見守りや、サロンでの楽しいひと時を過ごしていました。

また、学校安全ボランティアの登下校時見守

令和7年度 笠間市社協大旭支部役員名簿



平林英男支部長

支 部 役 員	役 職	氏 名					
	支 部 長	平林 英男					
	副 支 部 長	後藤 政見	高間 香	伊藤由美子			
	会 計	納 米次					
	監 事	小野 武	井川小夜子				
支 部 委 員 代 表	富田 裕治 (矢野下藤株)	田中 敬一	(大沢上2)				
	益子 佳典 (大沢下2)	川又 義祐	(八幡台1)				
部 門 委 員 代 表	菊池 智明 (旭平1)	長谷川 茂	(旭台団地4)				
	後藤 政見 吉田 正次	高間 香	前田 俊郎	菊池 三男			
	菊池 智明 渡辺 米子	伊藤由美子	寺門 常康	杉沼さち子			
支 部 委 員 (区 長)	富田 裕治 (矢野下藤株)	森 英三	(旭台団地1)				
	川井 昭 (矢野下下郷)	前原 晃	(旭台団地2)				
	中尾 健一 (大沢上1)	永作 富雄	(旭台団地3)				
	田中 敬一 (大沢上2)	長谷川 茂	(旭台団地4)				
	金箱 陽一 (大沢上3)	菊池 智明	(旭平1)				
	野崎 忠 (大沢下1)	小松崎栄一	(旭平2)				
	益子 佳典 (大沢下2)	小原 孝明	(旭平団地)				
	川又 義祐 (八幡台1)	池田 一美	(緑ヶ丘団地)				
	仲野 学 (八幡台2)	片野 敏文	(旭崎1)				
	永島 陽平 (原団地)	三村 直哉	(旭崎2)				
	塙 信三 (清住町)	羽子田 弘	(サンステージ)				
	前田 俊郎 (若狭山団地)	大谷 福江	(矢野下本郷)				
	高野けい子 (旭台)	工藤 勤	(ヴィーブル旭台)				
部 門 委 員	総務 ◎後藤 辻 瞳美	○吉田 納	正次 米次	菊池美智子	小野 武		
	高齢・身障 ◎高間 香 長谷川 茂	○前田 俊郎	田中 敬一	川又 義祐			
	児童・環境 ◎菊池 三男 仲野 学	○菊池 智明	小原 孝明	金箱 陽一			
	女性部 (にじの会) ◎渡辺 米子	○伊藤由美子	井川小夜子	大澤わか子			
	広報 ◎寺門 常康	○杉沼さち子	岩崎 恭枝	平林 英男			



支部代議員会

(部門委員の標記は、◎委員長・○副委員長を示す)

りは「児童の安心・安全を守る」として、関係者から感謝されています。

2 収支決算報告について

別記収支決算報告のとおりです。

3 令和7年度事業計画及び収支予算について

活動方針として「ふれあい、助け合い、思いやり」を掲げて、地域に密着した活動を開けます。

①事業計画の主なもの

○福祉推進員に対する活動

役員のバス研修会の代わりに福祉推進員を対象に、防災関係の研修会を計画しました。

○女性部(にじの会)の活動

配食を通した見守り、ふれあいサロンなごみの活動による高齢者への支援

○児童の健全育成活動

登下校時見守り活動、子ども会育成会との懇談会等による児童の育成支援

○高齢者、在宅介護者に対する活動

グラウンドゴルフ大会実施による健康維持増進の支援

○三世代での活動

支部全体としての輪投げ大会の開催



切り絵・うちわ

○広報活動の推進

広報紙「おおあさひ」を年3回発行

②収支予算編成とお礼

前年同様の予算を編成しました。支部の財政は、地域の皆様方の会員会費により運営されています。会員の皆様のご理解とご協力にあらためて感謝申し上げます。

令和6年度 決算報告

自：令和6年4月 1日
至：令和7年3月31日

単位：円

収入の部

項目	予算額	決算額	予算比	付記
繰越金	1,861,220	1,861,220	0	
会員会費還元金	1,000,000	904,500	△ 95,500	社会福祉協議会
福祉コミュニティ	50,000	50,000	0	社会福祉協議会
広報助成金	100,000	90,450	△ 9,550	社会福祉協議会
寄付金	0	5,000	5,000	旭台睦会
雑収入	5,000	5,916	916	預金利息・祝金
合計	3,016,220	2,917,086	△ 99,134	

支出の部

単位：円

項目	予算額	決算額	予算比	付記
会議費	30,000	24,350	△ 5,650	総会・役員会経費
総務費	30,000	30,000	0	役員活動費
通信費	15,000	15,000	0	諸事業の連絡経費
消耗品費	15,000	5,528	△ 9,472	事務用品・他
事業費	1,000,000	646,916	△ 353,084	
(事業費内訳)				
児童育成費	150,000	17,900	△ 132,100	子ども会助成 3団体 太陽・旭平・青空
高齢者クラブ助成	80,000	60,000	△ 20,000	6団体：10,000円/団体 寿会・若狭山・ときわ会・三友会・新生会・ひので会
グラウンドゴルフ大会費	60,000	54,198	△ 5,802	参加賞・賞品代：42,340 昼食代：11,852
にじの会活動費	130,000	31,440	△ 98,560	総会費：0 研修会費：31,440
地区ふれあい交流助成	140,000	63,832	△ 76,168	支部輪投大会：38,832 サロン「ひより」：10,000 旭崎1区：15,000
在宅福祉活動費	400,000	379,546	△ 20,454	配食サービス(約40食/回)：261,368 85歳以上食事会：87,598 在宅介護者記念品：30,580
ふれあいサロン「なごみ」助成	40,000	40,000	0	第2木曜日/月
研修費	110,000	58,210	△ 51,790	国立歴史民俗博物館(佐倉市)
支部広報発行費	250,540	250,540	0	3回/年・他(諸経費)
予備費	1,565,680	69,844	△ 1,495,836	広報用カメラ：41,024 広報紙印刷代：28,820
合計	3,016,220	1,100,388	△ 1,915,832	

備考：令和6年度 収支残高は下記のとおりです。

収入合計：2,917,086円

支出合計：1,100,388円

差引残高：1,816,698円 次年度へ繰越する

